

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個02事03

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港湾利用高度化担当課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7964 港営課
個別施策名	02 既存コンテナ機能を再編・強化する						
事務事業名	03 飛島ふ頭におけるゲート機能集約の事業化		継続	維持	維持		
目的	飛島ふ頭におけるゲート機能集約の取組方針を確立し、事業化につなげます。					事業 期間	平成20~25年度 ※「その他特記事項」
概要	コンテナターミナルの更なる効率化を図るため、飛島ふ頭におけるゲート機能集約について関係者との調整を行います。					根拠 法令等	
						実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	集中管理ゲートモデル事業の有効性及び効率性などの効果の検証を図るため、関係者と調整を行います。					関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	名古屋港飛島ふ頭物流効率化検討委員会に関係者として参画し、集中管理ゲートの整備効果や運用上の課題、周辺道路への影響把握とその対策等について検討を行いました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	4,305	0	0	523	0	(款項目節)
一般会計	千円	4,305	0	0	74	0	(算出計算式)
事業会計	千円				449		
埋立事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	13,155	13,731	8,481	5,172	3,787	(その他)
正規職員	人	1.50	1.60	1.00	0.60	0.30	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	
合計	千円	17,460	13,731	8,481	5,695	3,787	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標 25	備考(指標の算定方法など)
検討会・作業部会の 回数(回)	目標	5	5	5	6	5	-	集中管理ゲートWG2回 名古屋港飛島ふ頭物流効率化検討 委員会2回 計4回
	実績	5	6	7	3	4		
	達成率(単年度%)	100.0	120.0	140.0	50.0	80.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
ゲート機能集約の事 業化(式)	目標	-	-	-	-	-	1	
	実績	0	0	0	0	0		
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項	
必 要 性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					※目標年度は、集中管理ゲートの整備完了年度まででしたが、22年度に全額国費で施設が整備され、23年度から3年間効果の検証を行うことになったため、事業化の目標年度を24年度から25年度に修正変更しました。(23年度行政評価)	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
有 効 性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					集中管理ゲートの事業化には、ゲート機能集約の取り組み方針の確立が必要であり、関係者間での調整を行うことで、課題解決に貢献するものと考えます。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
効 率 性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					モデル事業の事業スキームは適正であり、関係者間の調整や検討を行うワーキングや委員会(事務局:国)を活用しているため、経済的と考えます。本組としても積極的に効果の検証に関与する必要があると考えます。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			国のモデル事業について、事業の有効性及び効率性などの効果の検証を十分に図り、事業化に向けて周辺道路の改良等を行う必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
集中管理ゲートモデル事業の有効性及び効率性などの効果の検証を図るため、関係者と調整を行います。				